

弥生会計からの仕訳データ移行

- これまで他の会計ソフトをお使いになっていた方は、これまでの取引（仕訳）データを取り込むことができます。
- これによりスムーズに「クラウド会計・確定申告」に移行することができます。

データを取り込むためには、大きく2ステップあります。

ステップ1

他の会計ソフトからの
データ出力
(エクスポート)

やよいの青色申告、弥生会計、勘定奉行、freeeなどのデータをCSV形式で出力します。

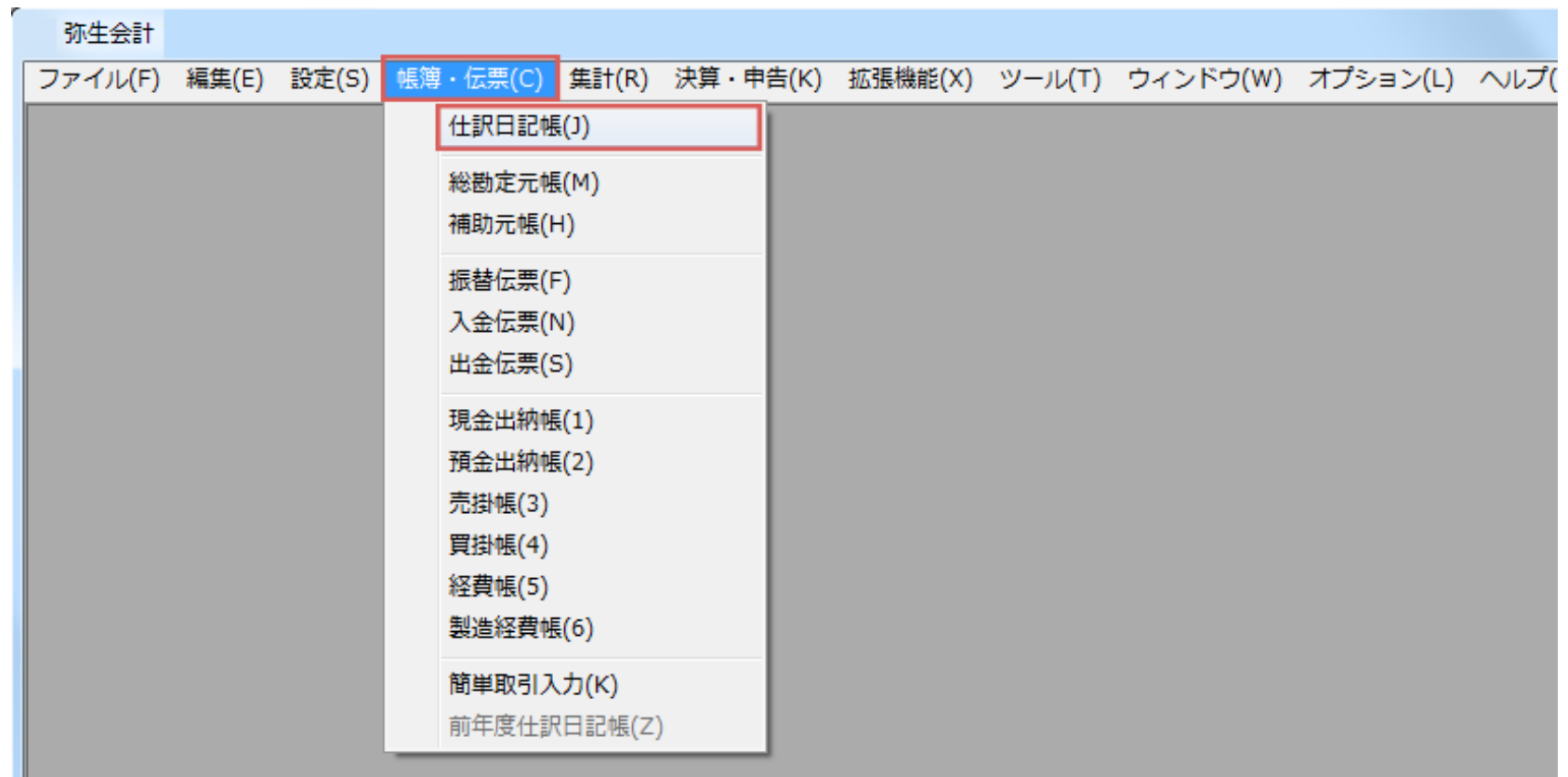
ステップ2

「クラウド会計・確定申告」へ
データ取込
(インポート)

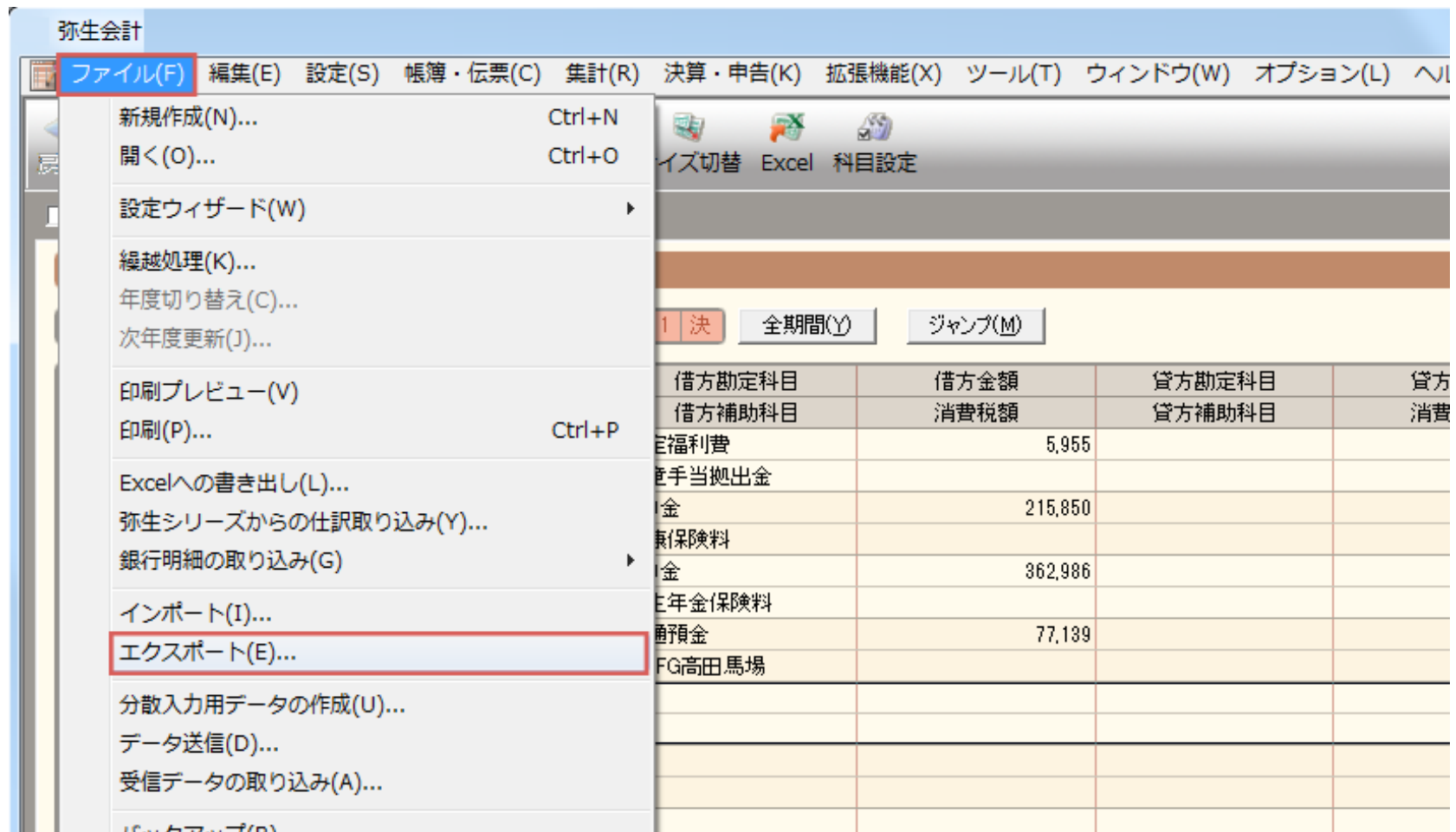
出力したデータを取り込む方法について説明します。

CSV形式：データをカンマ(",")で区切って並べたファイル形式のことで、異なるソフトのデータ関係によく使われる形式

弥生会計を起動後、メニューの「帳簿・伝票」から「仕訳日記帳」を選択します。(他の会計ソフトであれば、仕訳が一覧表示している画面を開いてください。)

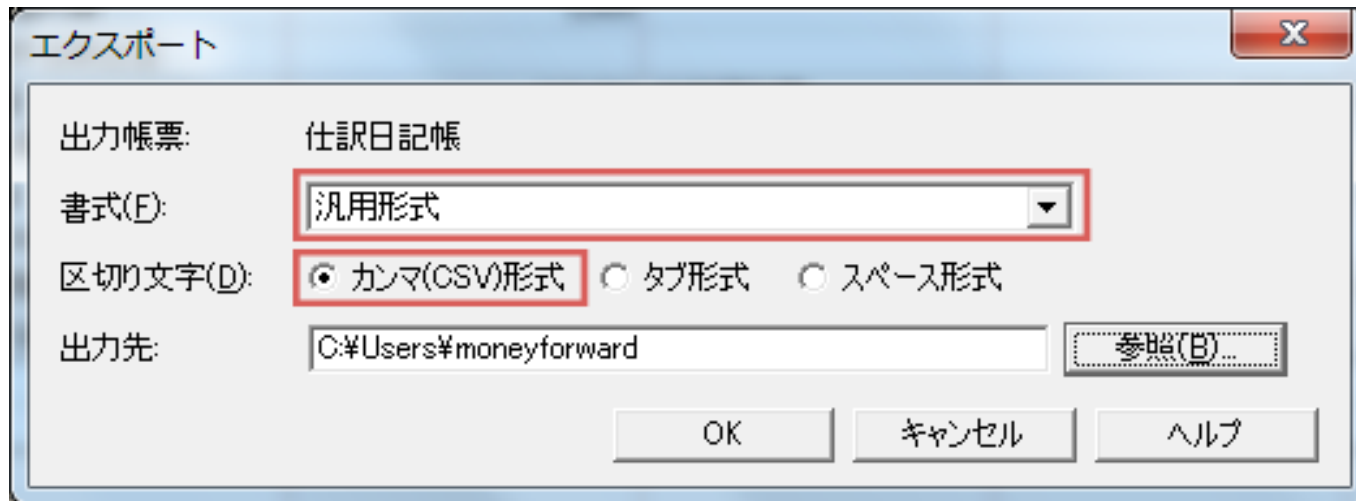


仕訳日記帳の画面が開いたら、メニューの「ファイル」から「エクスポート」を選択します。



エクスポート画面が開いたら、出力帳票が**仕訳日記帳**になっている事を確認し、書式は「**汎用形式**」を選択し、区切り文字は**カンマ(CSV)形式**を選択します。

出力先は任意に選択し、「OK」ボタンをクリックすると「クラウド会計・確定申告」に取り込める形式のCSVファイルが出力されます。



ホーム画面より「各種設定」をクリックし、「他社ソフトデータの移行」をクリックします。

The screenshot displays the Money Forward Cloud interface. The breadcrumb navigation at the top reads: ホーム > 各種設定 > 他社ソフトデータの移行. The main content area is titled '他社ソフトとのデータの移行ができます' and contains a grid of buttons for various software providers: 弥生会計, 会計王, 勘定奉行, やるぞ! 青色申告, freee, JDL (IBEX 会計), JDL (IBEX 出納帳), PCA, 財務応援, ミロク, A-SaaS, CASH RADAR, and TKC. On the left sidebar, the '各種設定' (Settings) menu item is highlighted with a red box. A dropdown menu is open below it, listing various settings options. The '他社ソフトデータの移行' (Data Migration) option at the bottom of this menu is also highlighted with a red box. A black callout box with white text points to this option, stating: '各種設定 > 他社ソフトデータの移行をクリック'.

ホーム > 各種設定 > 他社ソフトデータの移行

他社ソフトとのデータの移行ができます

弥生会計 会計王 勘定奉行 やるぞ! 青色申告
freee JDL (IBEX 会計) JDL (IBEX 出納帳) PCA
財務応援 ミロク A-SaaS CASH RADAR
TKC

各種設定

事業所
開始残高
勘定科目
税区分
部門
タグ
摘要辞書
仕訳辞書
取引先
他社ソフトデータの移行

各種設定 > 他社ソフトデータの移行をクリック

弥生会計を選択します。

ホーム > 各種設定 > 他社ソフトデータの移行

他社ソフトとのデータの移行ができます

弥生会計 会計王 勘定奉行 やるぞ！青色申告

freee 簿記（簿記出納帳） PCA

財務応援 CASH RADAR

TKC

「弥生会計」を選択

- 各種設定
 - 事業所
 - 開始残高
 - 勘定科目
 - 税区分
 - 部門
 - タグ
 - 摘要辞書
 - 仕訳辞書
 - 取引先
 - 他社ソフトデータの移行

仕訳の「インポート」をクリックします。

The screenshot shows the Money Forward Cloud interface. The left sidebar contains navigation items: ホーム, 自動で仕訳, 手動で仕訳, 取引管理, 会計帳簿, レポート, 決算・申告, データ連携, 各種設定, and その他業務. The main content area is titled '弥生会計からデータを移行する' and contains three steps: Step 1 勘定科目, Step 2 開始残高, and Step 3 仕訳をインポート. The 'インポート' button in Step 3 is highlighted with a red box. A black callout box with white text points to this button, stating '「インポート」をクリック'. The breadcrumb trail at the top reads: ホーム > 各種設定 > 他社ソフトデータの移行 > 弥生会計 > 弥生会計からデータを移行する. The top right corner shows a help icon, a question mark, a play button, and the text 'このページのガイド', along with the fiscal year '2019年度 (4月1日~3月31日)' and the company name 'テスト事業所 (法人)'.

アップロードするファイルを選択し、「開く」をクリックします。

弥生会計のインポート

仕訳ファイルのインポート

弥生会計のインポートを行う場合、一部の勘定科目に対して自動変換を行わせていただきます。
対象となる科目は[こちら](#)になります。

アップロードするファイルを選択してください。

ファイルを選択 選択されていません

アップロードするファイルを選択

先ほど出力したファイルを選択

「開く」をクリック

名前	更新日時	種類	サイズ
弥生会計.txt	2014/01/17 10:48	TXT ファイル	

ファイル名(N): 弥生会計.txt

すべてのファイル

開く(O) キャンセル

「インポート」をクリックします。

弥生会計のインポート

仕訳ファイルのインポート

弥生会計のインポートを行う場合、一部の勘定科目に対して自動変換を行わせていただきます。
対象となる科目は[こちら](#)になります。

アップロードするファイルを選択してください。

ファイルを選択 弥生汎用形式.txt

インポート

「インポート」をクリック

取り込まれていることを確認し「確認」ボタンをクリックします。

ホーム > 手動で仕訳 > データのインポート

サンプル株式会社(法人)/2016年度(4月1日~3月31日)

会計ソフトのCSVファイルインポート

「取引日」、「借方勘定科目」、「貸方勘定科目」はそれぞれ一つのみ、必ず選択してください。
「借方金額」、「貸方金額」のペア、または「貸借金額」を必ず選択してください。
「借方金額」、「貸方金額」は複数選択が可能です。この場合、それぞれの合算値が計上されます。会計ソフトによっては税金分が分かれている場合があるため、複数選択して貸借を一致させてください。
「借方補助科目」、「貸方補助科目」、「借方税区分」、「貸方税区分」、「伝票番号」は最大1つまで選択してください。
「仕訳メモ」が複数選択される場合、文字列を禁じて表示を行います。
表示形式に対し適当でない項目が選択された場合は正しく読み込む事ができません。
税区分については自動変換ができない場合、本サービス規定の税区分に手動変換していただく作業が発生します。
事業所の課税形式が「免税業者」の場合、「借方税区分」、「貸方税区分」を選択しても「メモ」に分類されます。
インポートできるCSVファイルは各会計ソフトの「仕訳日記帳」に類する機能からのエクスポートファイルになります。
データインポートの細かい形式については、「ヘルプ>使い方のガイド>データ移行編」をご覧ください。

列の項目を選択できます

---	取引日	伝票番号	---	---	---	---	---	---
[表題行]	日付	伝票no.	決算	調整	付箋1	付箋2	タイプ	生成元
[月細行]	平成28年07月01日	1		NO				
[月細行]	平成28年07月01日	2		NO				
[月細行]	平成28年07月23日	3		NO				
[月細行]	平成28年09月03日	4		NO				
[月細行]	平成28年09月03日	5		NO				
[月細行]	平成28年09月03日	6		NO				
[月細行]	平成28年09月03日	7		NO				
[月細行]	平成28年10月22日	8		NO			[振伝]	
[月細行]	平成28年10月22日	8		NO			[振伝]	
[月細行]	平成28年10月22日	8		NO			[振伝]	

処理を中止 確認

もし、本サービスに存在しない勘定科目があった場合、それを取り込む画面に移動します。既存のカテゴリに「追加」するか、既存の勘定科目に「変換」するかを選択して所定の操作を行い、「次へ」ボタンをクリックしてください。

※コードの自動変換により、このページが大幅に省略されます。

勘定科目の設定

マネーフォワードクラウド会計の勘定科目にマッチしなかった勘定科目が4個あります。
以下より登録済みの勘定科目に対し「変換」を行うか、属する分類に「追加」するかを選択し、「一括処理」ボタンをクリックしてください。
※いずれの処理も行わない場合は、「次へ」ボタンを選択してください。処理されなかった勘定科目は

処理方法	マッチしなかった勘定科目	未登録勘定科目の処理内容	税別/税込	備考	
<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 変換	他勘定振替	未選択 の分類に追加します。	不明		実行
<input type="radio"/> 追加 <input checked="" type="radio"/> 変換	商品売上高	未選択 に変換します。			実行
<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 変換			不明		実行
<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 変換			不明		実行
まとめて処理を実行する					一括処理

処理を中止

「追加」の場合、追加する「カテゴリ」を選択して右の「実行」ボタンをクリックしてください。

「変換」の場合、変換する「勘定科目」を選択して右の「実行」ボタンをクリックしてください。

取り込みたい勘定科目の追加が終わったら「次へ」ボタンをクリック

補助科目でも勘定科目と同様に本サービスに存在しない補助科目がある場合設定画面に移動します。「追加」または「変換」を行い、「次へ」ボタンをクリックしてください。

補助科目の設定

マネーフォワードクラウド会計の補助科目にマッチしなかった補助科目が2個あります。
以下より登録済みの補助科目に対し「変換」を行うか、属する勘定科目に「追加」するかを選択し、「一括処理」または個別処理を行うかを選択してください。
※補助科目の追加を行わない場合は、「次へ」ボタンを選択してください。追加されなかった補助科目は仕訳メモに記載されます。
※「未確定勘定」、「繰越利益剰余金」の補助科目の追加は行う事が出来ません。
※30文字以上の補助科目はオーバーした分を削除して登録されます。

処理方法	マッチしなかった補助科目	属する勘定科目	変換補助科目 / 税区分	
<input checked="" type="radio"/> 追加 <input type="radio"/> 変換	現金補助	現金	対象外	実行
<input type="radio"/> 追加 <input checked="" type="radio"/> 変換	売上補助	売上高	テスト商店	実行

まとめて処理を実行する

「追加」の場合、税区分を選択して右の「実行」ボタンをクリックしてください。

「変換」の場合は変換する「補助科目」を選択し、右の「実行」ボタンをクリックしてください。※属する勘定科目に補助科目が一個もない場合は「変換」を選択することはできません。

取り込みたい補助科目の追加が終わったら「次へ」ボタンをクリック

一部マッチングができない税区分がある場合、どの税区分に変換するか選択ができます。設定後、「保存」ボタンを押してください。

税区分の分類

マネーフォワードクラウド会計の税区分にマッチしなかった税区分が2個あります。
以下より本サービスで使用している税区分への変換を行ってください。
変換する税区分は「各種設定」>「税区分」にて「利用フラグ」にチェックの付いている物のみになります。
※変換を行わない場合は、「次へ」ボタンを選択してください。変換されなかった税区分は「設定なし」として扱われ、勘定科目毎に設定されたデフォルトの税区分で処理されます。

マッチしなかった税区分	変換する税区分	
課税売上内10%	<input type="text" value="不明"/>	<input type="button" value="変換"/>
課対仕入内10%	<input type="text" value="不明"/>	<input type="button" value="変換"/>

変換する税区分を選択

変換する税区分を選択後、「変換」をクリック

税区分の変換が終わったら「次へ」ボタンをクリック

一部マッチングができない部門がある場合、どの部門に変換するか選択ができます。設定後、「保存」ボタンを押してください。

ホーム > 手動で仕訳 > データのインポート

テスト2 (法人) / 2016年度(4月1日~3月31日)

部門の設定

未登録の部門が5個あります。
以下より登録済の部門に対し「変換」または「追加」の処理を行ってください。「処理方法」列のボタンで処理の切り替えを行います。
「追加」の場合は新規部門として追加されます。登録済み部門の子部門としての登録を行いたい場合は、事前に「部門の設定」にて設定をお願いします。
※ 本ページにて未登録部門に対する処理を行わない場合は、「次へ」ボタンを選択してください。未登録部門の仕訳は「全部門」として扱われます。

処理方法	未登録部門の処理内容	備考	
<input checked="" type="radio"/> 追加	「A部門」を新規に追加します。		実行
<input type="radio"/> 追加	「B部門」を 全部門(共通) に変換します。		実行

処理を中止

「追加」の場合、右の「実行」ボタンをクリックしてください。

「変換」の場合、変換する「部門」を選択して右の「実行」ボタンをクリックしてください。

設定が終わったら「次へ」ボタンをクリック

取り込まれる内容を確認し「保存」ボタンをクリックします。

仕訳ファイルインポート

本年度「2019年04月01日から2020年03月31日まで」の日付のデータのみ、アップロード可能です。

タグが「区切りではなくカンマ区切りで入力されている場合、読み込むことができません。

表示形式に対し適当でない項目が選択された場合は正しく読み込む事ができません。

勘定科目・補助科目・税区分等の各項目は、インポート後でも取引入力・仕訳にて変更できます。

「未確定勘定」もそのまま取り込み、後程修正することが可能です。修正する場合は、「会計帳簿」>「総勘定元帳」から「未確定勘定」を検索いただき、取引を修正してください。

その他、データインポートについては、「ヘルプ>使い方ガイド>金融機関などの入出金データをインポート」をご覧ください。

本画面は最終確認画面で、まだ取り込みは完了していません。

取り込みの有無、内容をご確認の上、画面下の「保存」ボタンをクリックしてください。

開始日 04/01 終了日 03/31

取込	取引日	借方勘定科目	借方補助科目	借方税区分	借方金額	貸方勘定科目	貸方補助科目	貸方税区分
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/01	減価償却累計額		対象外	1,000円	現金		対象外
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/02	売上値引・返品		課税売上-返還等 8%	2,121円	売上値引・返品		課税売上-返還等 8%
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/03	売上値引・返品		課税売上-返還等 8%	323,232円	売上値引・返品		課税売上-返還等 8%
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/05	仕入値引・返品		課税仕入-返還等 8%	323,232円	仕入値引・返品		課税仕入-返還等 8%
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/06	仕入値引・返品		課税仕入-返還等 8%	2,323円	仕入割引		課税仕入-返還等 8%
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/07	貸倒引当金		対象外	212,121円	期末商品棚卸高		対象外
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/04/08	未確定勘定			33,333円	現金		対象外
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/05/10	現金		対象外	1,000円	売上高		課税売上 8%
<input checked="" type="checkbox"/>	2019/05/11	現金		対象外	2,000円	未確定勘定		

処理を中止

保存

インポート受付後、取り込み状況はトップページでお伝えします。
ホームをクリックし、トップページへ移動してください。

The screenshot shows the Money Forward Cloud interface. On the left is a navigation menu with the following items: ホーム (Home), 自動で仕訳 (Automatic Journal Entry), 手動で仕訳 (Manual Journal Entry), 取引管理 (Transaction Management), 会計帳簿 (Accounting Ledger), and レポート (Report). The 'ホーム' item is highlighted with a red box. The main content area shows a breadcrumb trail: ホーム > 会計帳簿 > 仕訳帳. There are utility icons for help and a page guide, and a dropdown menu for the current period: 2019年度 (4月1日~3月31日) and the company name: テスト事業所 (法人). A blue notification box contains the message: 「ファイルのインポート受付が完了しました。取り込み状況はトップページにてご確認ください。なお、インポート受付直後は、他ファイルのインポートを行う事は出来ません。トップページにて対応完了の確認後に実施してください」. Below the notification is a search filter section with fields for 取引No (Transaction No.), 開始日 (Start Date: 2019/04/01), 終了日 (End Date: 2020/03/31), 種類 (Type: 全て), タグ (Tag: 全て), 金額 (Amount: 以上 ~ 以下), and 摘要 (Summary). There are also dropdown menus for 借方勘定科目 (Debit Account), 貸方勘定科目 (Credit Account), 補助科目 (Sub-account), and 税区分 (Tax Category), all set to 全て. A 検索 (Search) button is on the right. At the bottom right, there are buttons for 重複チェック (Check Duplicates), 一括編集 (Batch Edit), インポート (Import), and エクスポート (Export).

インポート状況をトップページでお伝えします。
インポート処理完了のアナウンスを確認後、「会計帳簿」>「仕訳帳」
ページにて正しく取り込まれていることをご確認ください

The screenshot shows the Money Forward Cloud home page. On the left is a navigation menu with items like 'ホーム', '自動で仕訳', '手動で仕訳', '取引管理', '会計帳簿', 'レポート', '決算・申告', 'データ連携', and '各種設定'. The main content area has a header with 'ホーム', a help icon, a question mark, and a link to 'このページのガイド'. Below the header, a notification box titled '処理の経過報告' (Processing Progress Report) is highlighted with a red border. The notification text reads: '仕訳ファイルのインポート処理が完了しました。処理の結果は、「仕訳帳」画面をご確認ください。' (Import processing of the journal entry file is complete. Please check the results on the 'Journal Entry' screen). Below the notification is a '残高合計' (Balance Total) section and an 'お知らせ' (Notice) section with a list of dates and events. A black callout bubble with white text points to the notification box, containing the text: 'こちらでインポート状況をお伝えします。' (We will inform you of the import status here).

- データの取り込みが可能な期間は、事業年度内となりますのでご注意ください。
- 減価償却累計額が未確定勘定として取り込まれる場合は、**「各種設定＞事業所」**の減価償却設定を間接法に変更してください。
- 仮受消費税、仮払消費税が未確定勘定として取り込まれる場合は、「設定＞事業所」の「消費税＞経理方式」を、**「税抜」**に変更してください。
- 「未確定勘定」もそのまま取り込み、後程修正することが可能です。修正する場合は、「会計帳簿＞総勘定元帳」から「未確定勘定」を検索いただき、取引を修正してください。